

通学途中の安全について

充実した学校生活をおくるために、健康や安全に留意することは大切です。道路・電車・バス等、通学途中の公共の場でも、市民としての常識と判断力をもち、安全な行動を取り、危険をなるべく回避できるようにする必要があります。また、安全確保について、日常的に保護者と家庭でも話し合うようにしてください。

通学途中の安全について考える上での留意点を以下に示しますので、参考にしてください。

- ①日頃から道路や交通機関等の状況を把握し、時間的ゆとりをもって行動することは、安全確保のためにも重要です。
- ②交番・交通機関事務所・公共施設・店舗・公衆電話など待避場所や緊急連絡場所を各自で把握しておいてください。
- ③人通りの少ない道はなるべく避け、危険が予想される場所には絶対に近づかないようにしてください。通学経路の状況や帰宅時間に応じて、防犯ブザー・携帯電話等を携帯することも考えてください。
- ④万一、不審者等により危害を加えられそうな状況に遭遇した場合、周囲に大声で知らせ、助けを求め、緊急に避難するなどの自己防衛の行動を臨機応変にとってください。
- ⑤事件・事故等に遭った場合、その状況や特徴等について、警察に報告できるよう努めてください。また被害を目撃した場合、緊急連絡等の可能な被害者支援をおこなえるよう努めてください。
- ⑥痴漢被害や交通事故に遭って、警察に届け、事情聴取を受けるなどに要した時間については、公欠扱いにするので、慌てずに対処してください。特に交通事故の場合は必ず警察に届け、保護者と学校にはできるだけすぐに連絡をしてください。

以上